

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北九州支部	(2) 記載者氏名:	日向 祥剛	会員番号:	11427	事務局整理記入欄	北九州 - 57
分水嶺区分	W619大平峠～W622天井山～大谷峠	(3) 山行日:	2004年	11月	28日	(4) 天候:	晴

(5) 参加者氏名および会員番号

日向 祥剛	11427				
浦田 和夫	13530				
末吉 史忠	13642				
内藤 正美	14079				
計				4名	

サポート要員氏名および会員番号

重宗 達夫	会友				
計				1名	

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	W619大平峠～W620権現山～W621大水峠～W622天井山												
アプローチ:	各地より下関集合～R2～R316美祿市～R31～R36下中辺(天井山登山ルートにP)～大平峠へ移動												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	大平峠P	秋吉台北部								9:00			
W619	大平峠	"	131	17	30.3	34	19	35.7	265	9:05	9:10	B-2	
W620	権現山	三隅中	131	17	10.5	34	20	0.1	560	10:09	10:20	B-1	
	P383	秋吉台北部	131	16	41.5	34	19	51.2	377	11:00	11:02	A-2	
W621	大水峠	"	131	16	39.9	34	19	45.6	373	11:05	11:10	B-1 (8)(11)	
	トンネル上	"	131	16	31.5	34	19	37.4	424	11:25	11:30	B-2 (8)(11)	
W622	天井山	"	131	15	52.0	34	19	22.0	603	12:20	13:10	A-2 (8)(11)	
分水嶺離別点	大谷峠	"	131	15	45.2	34	19	9.8	447	13:35	14:10	B-2	
歩行終了点	下中辺P地点	"	131	15	51.3	34	19	9.6	158	14:55		B-1	
総歩行時間(休憩時間を除く):											4時間2分		

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W620	権現山	3	正常	良	地上に露出
W622	天井山	3	正常	良	地上に露出

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

大水峠にはお地蔵様があり地元の人や登山者がお参りしているようであった。道も比較的はっきりしていた。 天井山は見晴らしも良く、山頂は灌木が切り開かれ、表示もあった。

(9) 水および植生に関連した特記事項

ミツバツツジ等の雑木林の尾根道で乾燥している。落葉等も多い。

(10) その他の特記事項

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 大水峠のお地蔵様の前で記念撮影 天井山での記念撮影

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

--



大水峠のお地蔵様の前で記念撮影



天井山での記念撮影